

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要						
建物名称	株式会社タカギ 新社屋 (R&D棟)	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2 重点項目への取組み度						
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価			
1 循環型社会への貢献	3.1 /5		ふつう			
2 地球温暖化対策の推進	3.7 /5		ふつう			
3 豊かな自然環境の確保	2.3 /5		がんばろう			
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう			
* 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア						
使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2021年版			使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021(v.1.1)			
1 循環型社会への貢献						スコア平均 3.1
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減			スコア 2.9	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数		
躯体+軽鉄下地+仕上げ材で、躯体と仕上げ材が容易に分別可能				Q2/ 3 対応性・更新性		
				電気・通信配線は、ケーブルラックや電線管を使用し、仕上材を痛めることなく更新修繕ができる		
2 地球温暖化対策の推進						スコア平均 3.8
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮			スコア 3.5	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水		
ライフサイクルCO2排出率86%				自動水栓、節水型便器を採用		
3 豊かな自然環境の確保						スコア平均 2.3
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出			スコア 1	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上		
				LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善		
				緑被率35%		
4 高齢社会への対応						スコア平均 3.0
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画			スコア 3	主な指標		
バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準項目の半分程度を満たす				建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級		
				0.84		
				建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEI値、住宅: -		
				0.79		
				外構緑化指数		
				64%		
				建物緑化指数		
				0%		

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社タカギ 新社屋 (R&D棟)	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市小倉南区大字堀越	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,800 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2023年1月27日
敷地面積	3,580 m ²	作成者	村尾 洋二
建築面積	1,639 m ²	確認日	2023年1月27日
延床面積	5,592 m ²	確認者	村尾 洋二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	・建物高さ等は周辺のまちなみや風景に調和している	その他 0
Q1 室内環境	・建材はF☆☆☆☆相当品とする ・非喫煙者が煙にさらされることのないよう、喫煙ブースを設置	Q3 室外環境 (敷地内) ・植栽による良好な景観を形成している
LR1 エネルギー	・BPI _m =0.84 ・BEI _m =0.79	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率73%
Q2 サービス性能	・天井高2.7m(オフィス)、階高4.35m以上、ゆとりがある ・電気・通信配線は、ケーブルラックや電線管を使用し、仕上材を痛めることなく更新修繕ができる	
LR2 資源・マテリアル	・自動水栓や節水型便器を採用し、節水に務めている ・躯体+軽鉄下地+仕上げ材で、躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ・使用断熱材は、現場発砲UF A種と押出法PFで、GWP10以下	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
株式会社タカギ 新社屋 (R&D棟)

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
		Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境			0.40			2.9	
1 音環境		3.1	0.15	-	-	3.1	
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音		3.4	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能	-	1.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-		
1.3 吸音	-	3.0	0.20	-	-		
2 温熱環境		2.1	0.35	-	-	2.1	
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	-		
1 室温	-	3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能	屋根U=0.9(W/m ² K)、外壁U=0.6(W/m ² K)	4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式	-	1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	3.3	
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-		
1 昼光率	-	3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御	ブラインド+庇	4.0	1.00	-	-		
3.3 照度	-	3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-	3.7	
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆相当品とする	4.0	1.00	-	-		
4.2 換気		3.0	0.30	-	-		
1 換気量	-	3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能	-	3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視	-	3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御	喫煙ブースを設置	5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2	
1 機能性		3.2	0.40	-	-	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性	-	3.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応	-	2.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画	-	3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観	天井高2.7m	5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース3.5%+自動販売機の設置	5.0	0.33	-	-		
3 内装計画	-	3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管・雑排水管・汚水管 Bを使用	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-		
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高4.35m以上	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.12	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	1.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	ケーブルラックや電線管を使用	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	ケーブルラックや電線管を使用	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.84	4.6	0.20	-	-	4.6
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.79	3.1	0.50	-	-	3.1
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	自動水栓・節水型便器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄地下+仕上げ材で、躯体と仕上げ材が容易に分別可	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	使用断熱材は、現場発砲UF A種と押出法PF	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率86%	3.5	0.33	-	-	3.5
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストの項目を概ね満たす	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0	-	-	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0	-	-	2.0	-	3.0	1.0	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0	-	1.0	-	-	3.0	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC 1.0 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m2K) 窓システム 6.0 屋根 0.9 外壁 0.6 床 -															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -															
3.1.1 昼光率 昼光率 1.8%															
4.2.2 自然換気性能 自然換気有効開口面積率 2.6%															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性 執務スペース 6.0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応 コンセント容量 30.0 VA/㎡															
1.2.1 広さ感・景観 天井高 0 m															
1.2.2 リフレッシュスペース リフレッシュスペース 3.5% レストスペース -															
2.2.1 躯体材料の耐用年数 想定耐用年数 0 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 想定必要間隔 20 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 想定必要間隔 10 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔 想定必要間隔 10 年															
3.1.1 階高のゆとり 階高 4.35 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ 壁長さ比率 12.0%															
3.2 荷重のゆとり 床荷重 - N/m2															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出 外構緑化指数 64% 建物緑化指数 0%															
3.2 敷地内温熱環境の向上 空地率 61% 水平投影面積率 9% 地表面対策面積率 35% 舗装面積率 25%															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制 BPI/BPI _m 0.84 断熱等性能等級 0 相当															
2 自然エネルギー利用 自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%															
3 設備システムの高効率化 BPI/BPI _m 非住宅 0.79 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無 雨水利用率 0.0%															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -															
2.5 持続可能な森林から産出された木材 使用比率 0.0%															
3.2.1 消火剤 オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.2 発泡剤(断熱材等) オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 10															
3.2.3 冷媒 オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善 見付面積比 166% 隣棟間隔指標Rw 2.03															
地表面対策面積率 35.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%															
見付面積Sb 946㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 74.675 m 基準高さHb 7.6 m															
緑地 1.257㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															